

<執筆者プロフィール>

高橋 功吉

(たかはし こうきち)

(株)ジェムコ日本経営
常務理事 グローバル事業担当



大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007年執行役員、2011年取締役、2015年6月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経BP)他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMCI(国際公認経営コンサルティング協会)認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マスターマネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

今年も残り少なくなった。振り返ってみると、今年はトランプ大統領の就任に始まり、その発言に戸惑うことも多かった年と言える。アメリカ第一主義の標榜で保護貿易への懸念と共に、メキシコに展開している企業も、投資計画を一部見直しアメリカへの投資拡大を図るなど拠点戦略を見直した企業もあった。

外貨を稼いできた。しかし、民主党政権下での「製造業は日本から出ていけ」政策により、製造業への就業者は1000万人まで減少すると共に貿易収支は赤字に転落。日本が担っていたマザーファクトリーの機能が消滅し、日本のものづくりはどこに行ったのかという事例も多く発生するようになった。安倍政権になってようやく黒字化した貿易収支だが保護貿易主義の台頭はそれに水を差す動きと言える。そのような中で、

「何としても利益を出せ」、「何としても生産性を上げよ」、「不良を減らせ」、経営者であれば誰もが思うことであり、これらのことを指示するのは当然のことだ。しかし、この推進方法には企業の

「何としても利益を出せ」、「何としても生産性を上げよ」、「不良を減らせ」、経営者であれば誰もが思うことであり、これらのことを指示するのは当然のことだ。しかし、この推進方法には企業の

「何としても利益を出せ」、「何としても生産性を上げよ」、「不良を減らせ」、経営者であれば誰もが思うことであり、これらのことを指示するのは当然のことだ。しかし、この推進方法には企業の

「何としても利益を出せ」、「何としても生産性を上げよ」、「不良を減らせ」、経営者であれば誰もが思うことであり、これらのことを指示するのは当然のことだ。しかし、この推進方法には企業の

「コンサルタンの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で見聞きしたことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

足元を固める

本年気になったこと

今年日本を代表する企業が経営危機に見舞われる事態が多発した。不正会計問題や品質問題、それに伴う対応で当該企業の苦労はいかばかりのものであったであろうか。これらの問題に共通するものがベースとしてのコンプライアンス問題である。そういう意味で、今年は各社を支援させていた

トップによって大きな差がある。コンプライアンス問題を引き起こす可能性があるのでないかと感じる企業は、「利益計画未達とは何事か」、「これだけ多くの不良を出しているとは何事か」というように指摘と共に叱責する

問題が発生することはないなど思わせる企業は「どういう企業だろうか。それは、常に問題を表に出さうという風土ができていない企業だ。そんなことはできるのか」と思われる読者もあるかもしれない。しかし、経営トップが問題を表に出して

改善されている。この企業のトップは、「全員の知恵をどこにどう集めるかが経営」と言われており、現場の皆さんには、「不良は最大の経営ロス、どれだけ不良を見つけたか、それをどれだけ改善するか」に全員で知恵を出して取り組んでほしい」と言われていた。

「何としても利益を出せ」、「何としても生産性を上げよ」、「不良を減らせ」、経営者であれば誰もが思うことであり、これらのことを指示するのは当然のことだ。しかし、この推進方法には企業の

「何としても利益を出せ」、「何としても生産性を上げよ」、「不良を減らせ」、経営者であれば誰もが思うことであり、これらのことを指示するのは当然のことだ。しかし、この推進方法には企業の

「何としても利益を出せ」、「何としても生産性を上げよ」、「不良を減らせ」、経営者であれば誰もが思うことであり、これらのことを指示するのは当然のことだ。しかし、この推進方法には企業の

Providing is preventing

近年タイにおいては法令順守が強化、特に工場、倉庫に対する消火設備設置の要請がでております。ヤマトプロテックアジアでは、タイの現状にあわせて新設および後付けでの消火設備の法令相談・設計・設置をご予算にあわせて承っております。

火の用心

1 水系 消火設備

- 1. スプリンクラー設備
- 2. ドレンチャー設備
- 3. 水噴霧消火設備
- 4. 連結散水設備
- 5. 連結送水管
- 6. 採水口
- 7. 消火栓
- 8. パッケージ型消火設備

2 泡 消火設備

- 1. 泡消火薬剤
- 2. 泡消火薬剤混合設備
- 3. 駐車場用泡消火設備
- 4. 特定駐車場用泡消火設備
- 5. 各種機器
- 6. 危険物泡消火設備
- 7. 泡消火設備放射点検用の試験液体
- 8. セルフガソリンスタンド用消火設備

3 ガス系 消火設備

- 1. 設備機器
- 2. 不活性ガス(二酸化炭素、FM200、窒素ガス)
- 3. 移動式不活性ガス消火設備

4 粉末 消火設備

- 1. 設備機器
- 2. 粉末モニター
- 3. 移動式粉末消火設備

YAMATO PROTEC ASIA CO.,LTD.

128/379 Phayathai Plaza Building,FL.35 Unit B,Phayathai Rd.,Thung Phaya Thai, Ratchatewi,Bangkok 10400
Tel 02-129-3413~4 (タイ語・英語) Fax 02-129-3412 www.yamatoprotec.co.jp

担当:原口:06-270-0702 haraguchi@pa.in.th

アジアをネットワークでサポートします。

ヤマトプロテック株式会社 東京本社 Tel:03-3446-7151 Fax:03-3446-7243
〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2

Yamato Protec Dalian Co.,Ltd. Tel:+86-411-8259
116001 Room6 8F, HongfuBuilding No45,Shanghai Road, Zhongshan District,Dailan City,China

Yamato Protec Taiwan Co.,Ltd. Tel&Fax:04-2301-7632
6F-10 No.161. Gong Yi Rd., West Dist.,40360,Taiwan

Yamato Protec(Dong Nai) Co.,Ltd. Tel:(84-61)3936562-3936564 Fax:(84-61)3936563
Lot 222,Road 4, Amata IP,Long Binh Ward,Bien Hoa City, Dong Nai province Vietnam

Yamato Protec Viet Nam Co.,Ltd.
30 Dai Lo Doc Lap Vietnam Singapore Industrial Park Tuan An District Binh Duong Province Vietnam

【第6面から続く】

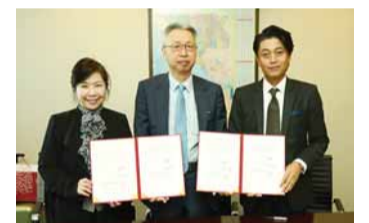
て方での間違いについて、真に何が不足していたのか、また、それを踏まえて、どうすべきかを知ることにつながる。正しい分析の上に次の展開があるということであり、適切に問題を把握することが奨励される風土が、計画達成を常態化するためには重要な点だ。計画未達の場合の報告が言い訳になっていない企業

と、未達になったことを反省し、その上で、真に何が不足していたのか、また、それを踏まえて、どうリカバリーしようとするのか、皆が考えたアイデアを報告している企業とでは、ものすごく大きな差があるという点だ。

問題を徹底して表に出せる風土を作るということであり、その改善に向けて全員が知恵出し、喜びを感じられるようにすることだ。年明けには、年初の方針を出される企業もあると思うが、「問題発見が儲けの原点」ということを全員が意識することからスタートしてみるのがよいかもしれない。

タイで太陽光発電設備やLED照明設置のエスコ事業を行うウエストインターナショナル(タイ)の東京本社・ウエストホールディングスと、台湾のグリーン

ウエストホールディングス 台湾経済研究院研究一所 グリーンエネルギー事業促進で覚書



左よりウエストホールディングス海外事業部部長の孫美氏、財団法人台湾経済研究院研究一所所長の左峻徳博士、ウエストインターナショナル(タイ)代表取締役社長の天野友寛氏

エネルギーのシンクタンク・EIBMIC(財団法人台湾経済研究院研究一所)との連携が、タイ・日本・台湾におけるグリーンエネルギー

事業の促進に向けた覚書(MOU)に署名した。今回のMOUにより、ウエストインターナショナル(タイ)が今後タイ国内で展開するサービスが拡大。事業の柱である省エネルギー事業やエスコ事業に加え、工場・ビル・学校・病院・公官庁などの建物全体を対象としたエネルギー使用の効率化に取り組んでいく。

タイ 日本新幹線導入へ報告書

日本の新幹線方式を前提としたタイの首都バンコクと北部チェンマイを結ぶ約700キロの高速鉄道計画の一部路線に関する事業化調査が終了し、牧野京夫国土交通副大臣が14日、バンコクでタイのアーコム運輸相に最終報告書を手渡した。日本側によると、報告書は「一定の経済効果をもたらす、長期的な収支は黒字となる」とし、採算性を見込んだ内容。日タイ両政府は新幹線方式の導入をすでに確認しており、今後はタイ側で正式な事業承認に向けた動きが本格化する。

牧野氏は「この計画は日本の鉄道輸出のシンボルとなる。最大限協力して成功させたい」と記者団に述べた。アーコム氏は「できるだけ早く事業承認できるよう努力したい」と話したという。

事業化調査が終わったバンコク・ピサヌローク間(約380キロ)は2019年に着工、25年の開業を目指す。アーコム氏によると、総工費は4200億バーツ(約1兆4500億円)。日本側は、円借款などの要望があれば協議していく方針という。

アーコム氏らによると、バンコク・チェンマイ間を約3時間半で結び、運賃は約千バーツを想定。ただ同区間は空路が既に一般的で、鉄道利用への疑問も指摘されている。

タイ政府が進める高速鉄道建設計画にASEAN アジア新興国、成長減速へ 18年5.8%、開銀予測 中国経済の鈍化響く

ASEAN アジア新興国、成長減速へ 18年5.8%、開銀予測 中国経済の鈍化響く

企業情報、掲載します

新製品・サービスなど

企業情報を掲載させていただきます。掲載ご希望の企業の方は下記までご連絡ください。バンコク週報 info@bangkokshuho.com

PERRY JOHNSON REGISTRARS™ ISO認証取得なら何でも聞いてください! ペリージョンソンがお世話します。提供マネジメント規格 ISO9001/ISO14001 ISO45001(OHSAS18001) IATF16949/AS9100/R2 FSSC22000/ISO13485 GMP/HACCP/ISO10002

happy gate 門番 monban 発売より32年、累計出荷台数16万台 JAPAN No.1 シートシャッター「門番」のメーカー 小松電機産業株式会社